

ヤマネをより多くの人に
知ってもらうには

動物分野 D

ヤマネの生態



- 体長：6～8センチ
- 体重：14～25g
- 特徴：5cm程あるふさふさとした尻尾
- 木の枝を伝って歩く
- **夜行性**
- メスは一回の出産で3～7匹の子供を産む

ヤマネの生態

食性：昆虫（セミ、トンボ、カナブン、クモ）
果実（アケビ、ヤマブドウ、サルナシ）

アケビ



ヤマブドウ



サルナシ



フィールドワーク（隠岐自然館・銚子ダム）

に行って分かったこと

- 日本の離島の中でも、生息しているのは島後のみ
- 保護をした後、発信器をつけて行動範囲などを調べている
(15gになったら)
- ヤマネを研究するための木箱が設置されている
(銚子ダムの山の中)



その他調べて分かったこと

- ヤマネを見つけたら関係者（**市町村教育委員会**）に報告
- 国から認定をもらった人しか保護してはいけない

きっかけ

- 元関西学院大学教授の湊先生の話聞いて
ヤマネが貴重な動物であることを知ったから
- ヤマネが貴重ということを知って守りたいと
思ったから
- 隠岐の人にヤマネの存在を知ってもらいたいと
思ったから

ヤマネを守るために実際にされていること

「アニマルパスウェイ」

- ・ 森と森をつないで樹上で生活する動物などを救おうというプロジェクト
- ・ **ロードキル**（道路で車に轢かれて死ぬこと）や、天敵（フクロウ・テン）から守ることができるという利点がある

→ 私たちも作れないか・・・？

アニマルパスウェイ・・・建築費は200万円



高額で大規模なため断念・・・ 9

守るのが難しいなら知らせていこう

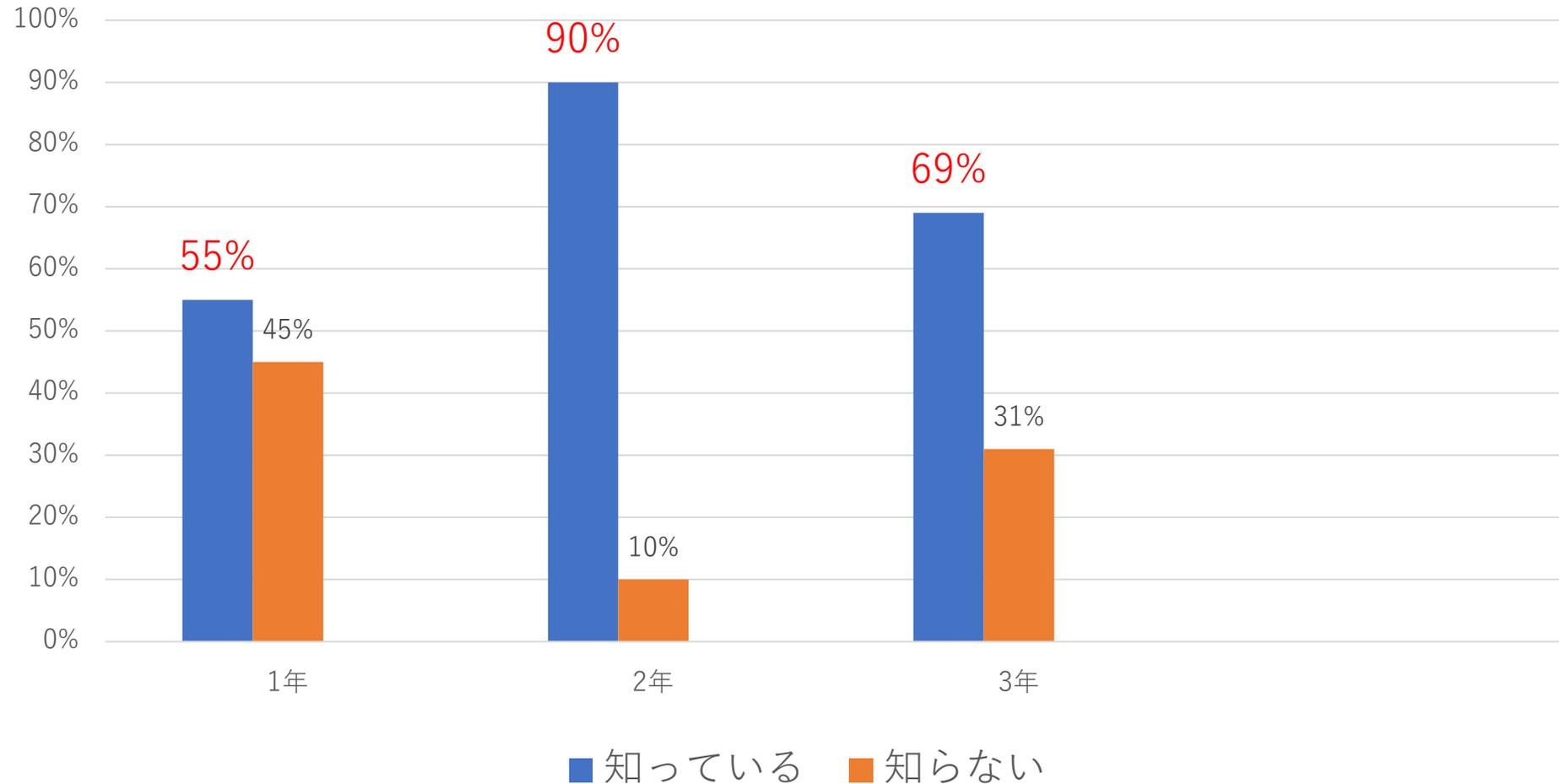
ヤマネは夜行性で見る機会が少ないから
身近な存在になっていないのではないか・・・？



アンケート調査を行った

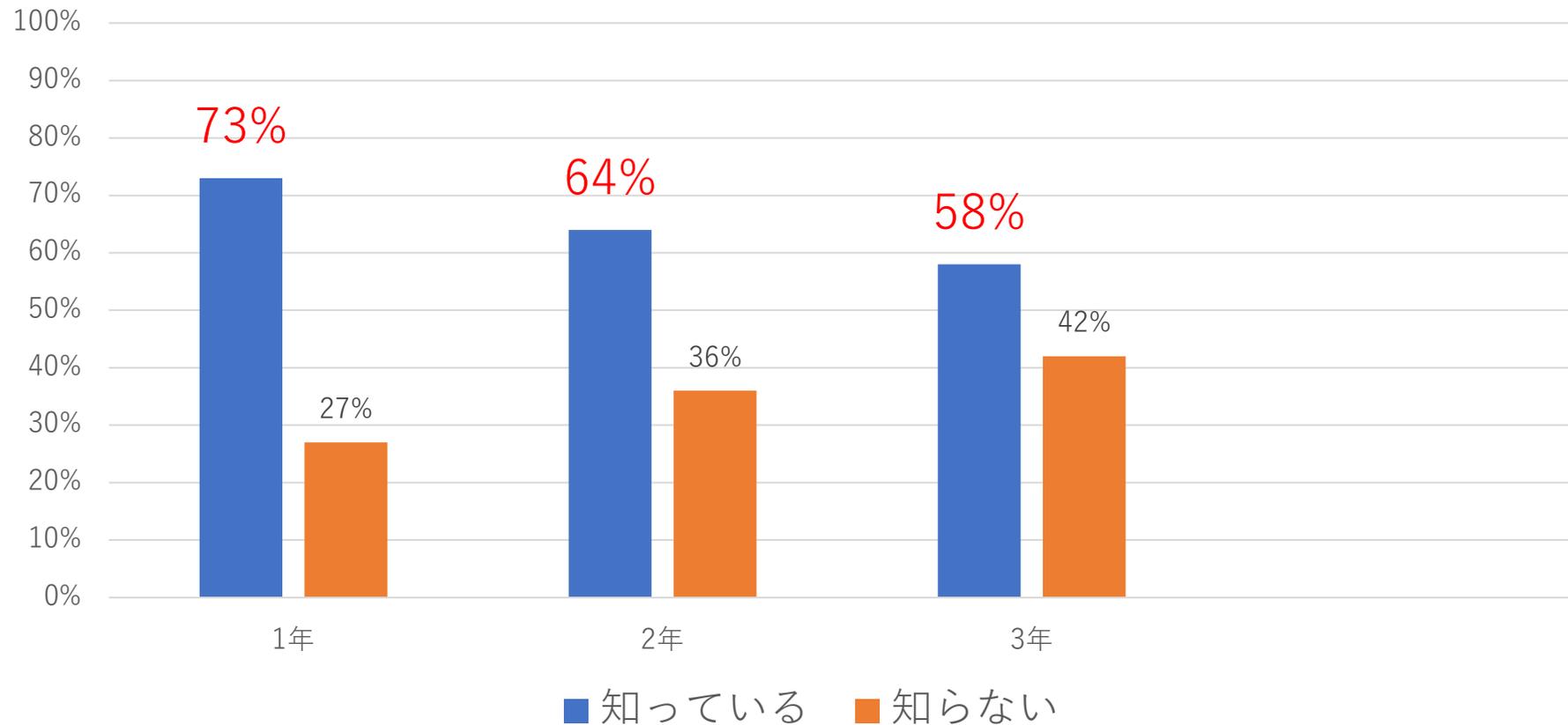
アンケート結果①（隠岐高校生徒）

ヤマネの存在を知っているか



アンケート結果②

天然記念物ということを知っているか



アンケート結果について

- ヤマネを知っている人が少ないと思っていたけれど
予想以上に**多かった**
- 天然記念物ということを知っている人は**少なかった**

課題

ヤマネが貴重な存在であることが
知られていない

調査から見えてきた課題

- どの学年も想像よりはヤマネを知っている割合が高い
- しかし、天然記念物ということを知っている人は、
ヤマネの存在を知っている人の中でも半分くらいしかいない



ヤマネが貴重であるということを知らせる必要があると思った

ありたい状態

最終的には島民全体にヤマネの生態、貴重さについて
知られている状態までいきたい



はじめから島民全体は規模が大きいので
まずは隠岐高生全体に知られている状態を目指す

課題の要因

ヤマネを見る機会が少なく、学ぶ機会も少ない

課題解決のためのアイデア

ポスターを制作して隠岐高校の生徒が目につきやすい場所に貼る

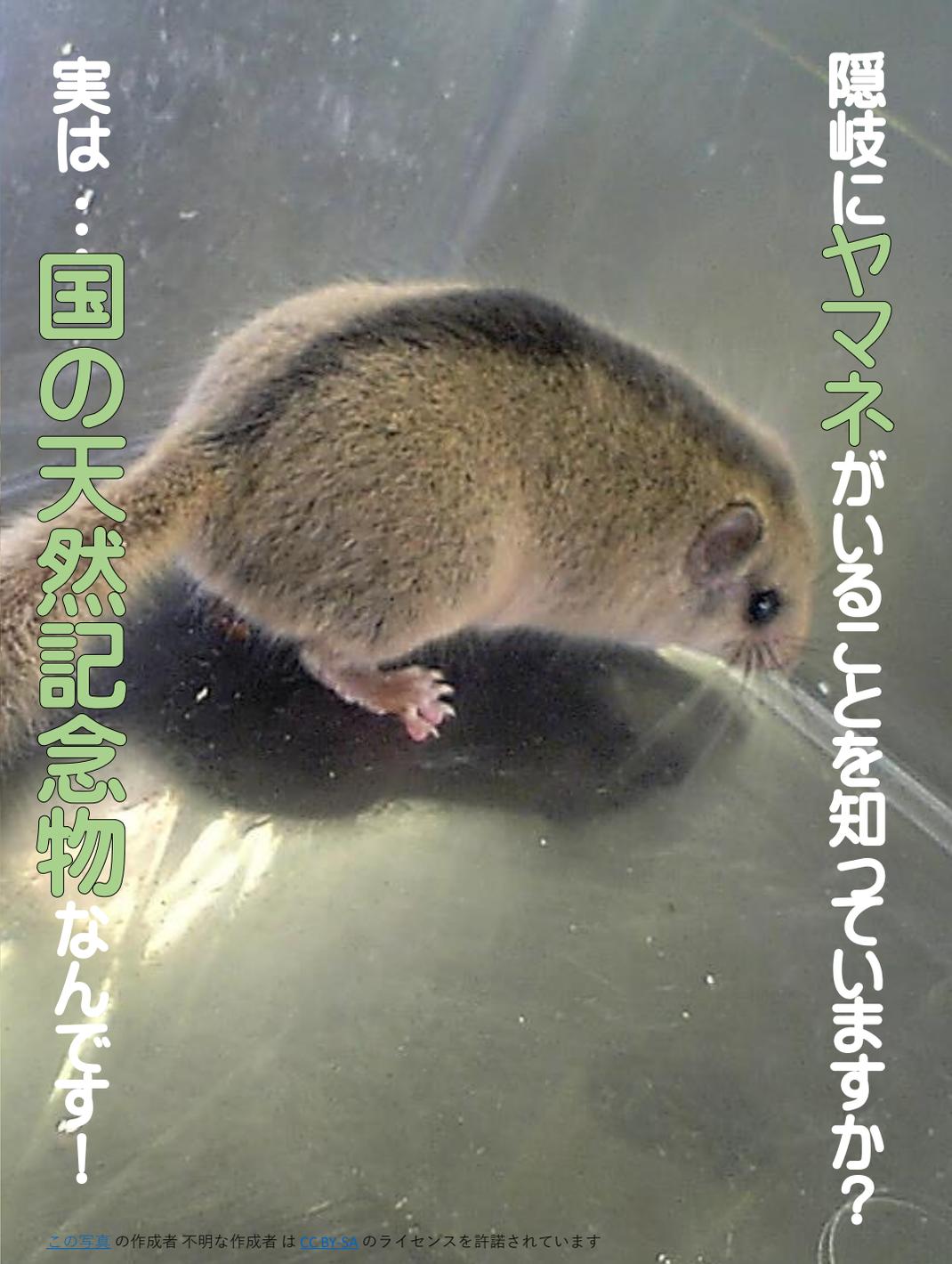


貼ったポスターをどのくらいの人が見て、

貴重さを知ってもらえたかを検証

(アンケート実施)

ヤマネを見つけても保護
をしてはいけません。
見つけたら、教育委員会
に報告を。



隠岐にヤマネがいることを知っていますか？

二枚をセットにして、**昇降口、
体育館入り口、職員室前、
体育館下トイレ前などに設置**

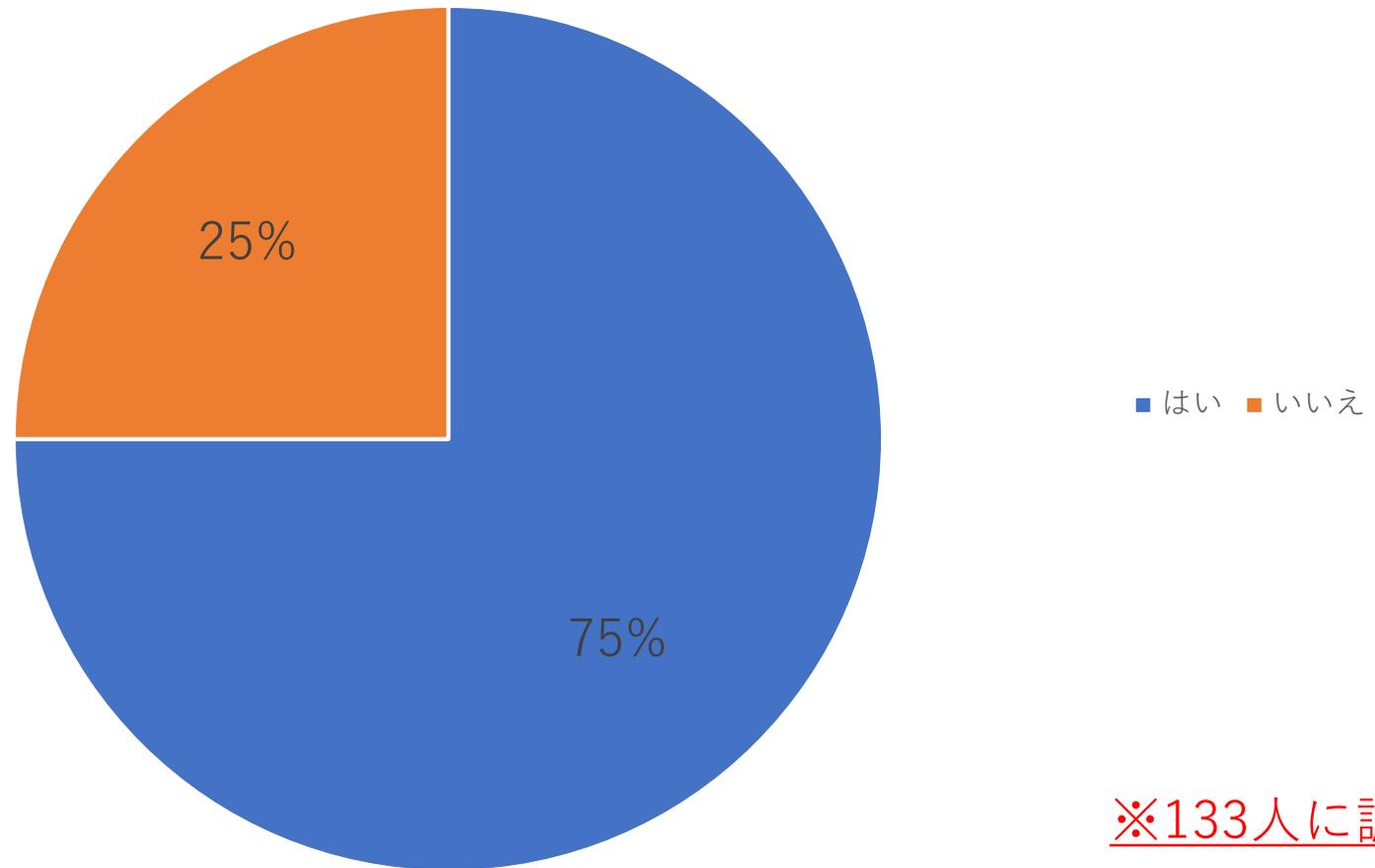
実は…**国の天然記念物**なんです！

この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-NC-ND](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/) のライセンスを許諾されています

この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/) のライセンスを許諾されています

校内にポスターを貼った後にアンケートをした結果

ヤマネのポスターを見ましたか。



※133人に調査

アンケートを踏まえて

隠岐高校の生徒のヤマネを知っている割合が高かったので、
規模を大きくして町民の方にも知らせていこうと考えた。

計画

町民の方にインタビュー



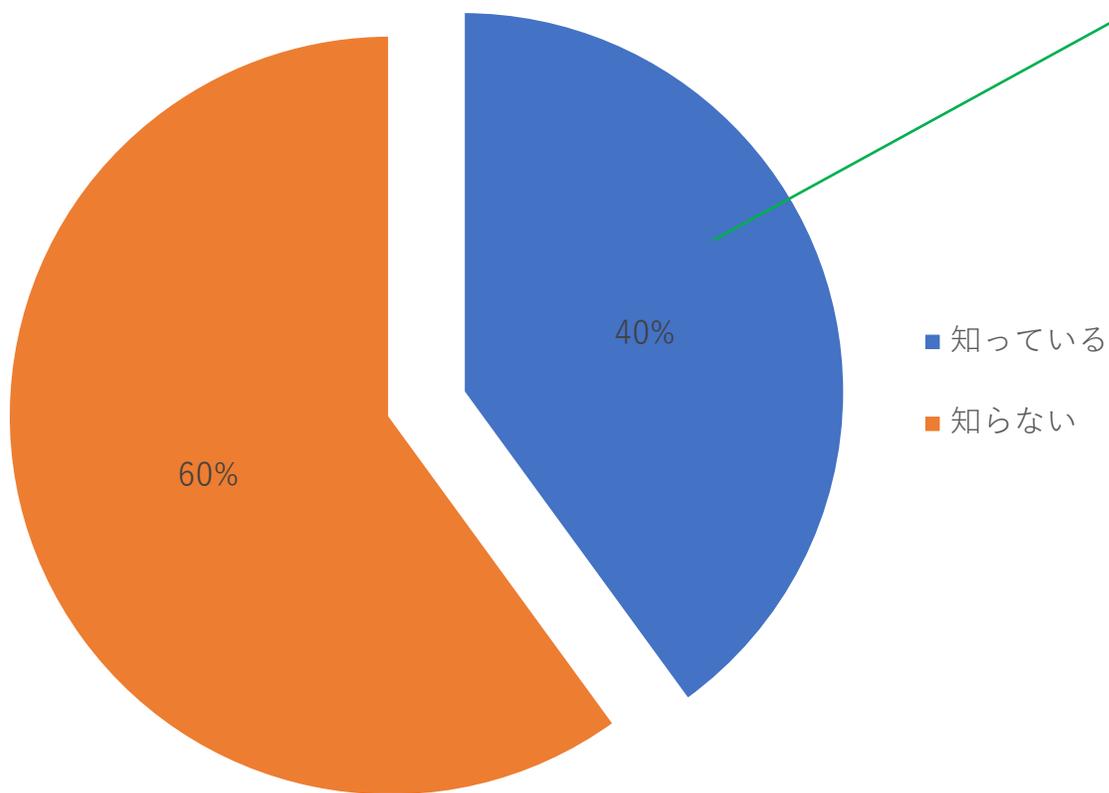
ポスターを貼る（サンテラスに）



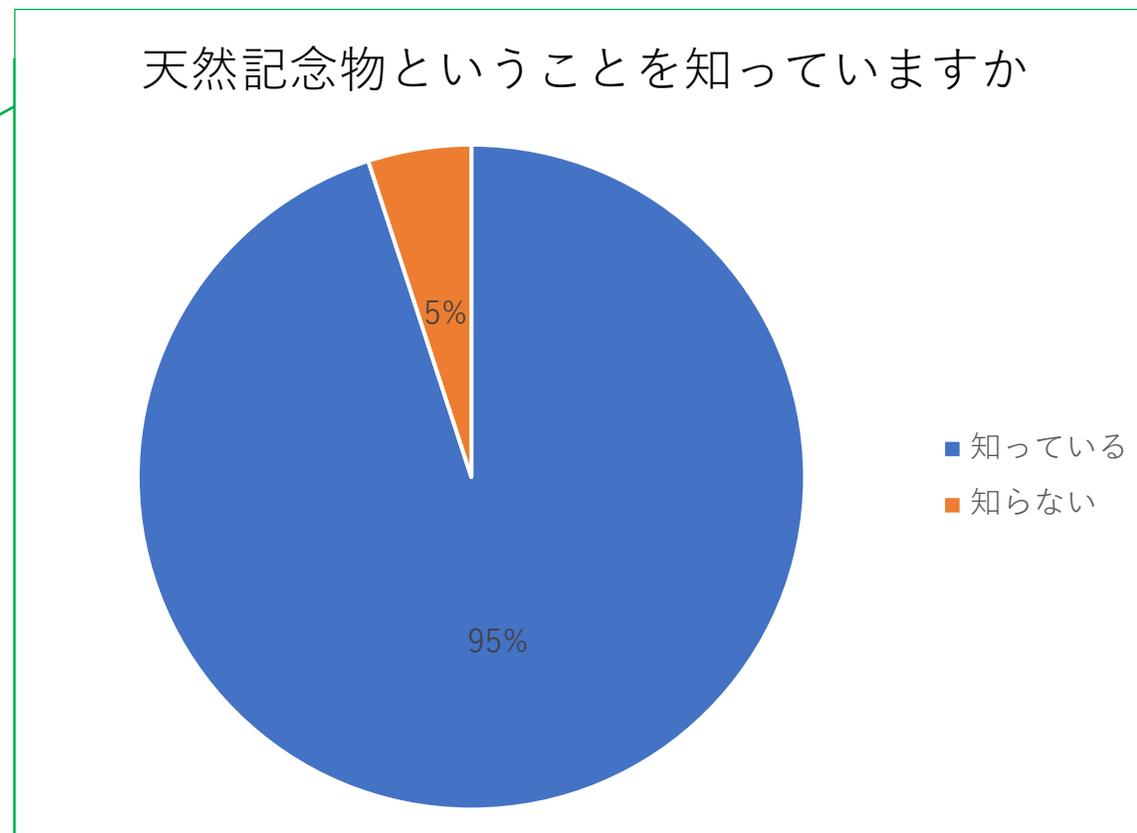
2週間後、に同じ形でインタビュー

街の人にインタビューした結果

ヤマネという動物を知っていますか



天然記念物ということを知っていますか



※50人に調査

インタビューの結果より

- ・ ヤマネの存在を知らない人のほうが多かった
- ・ ヤマネの存在を知っている人の中で、天然記念物ということを知ってる人の割合は9割を超えていた
- ・ 私たちよりもヤマネに詳しい人がいた



ヤマネについて知らない人は本当に何も知らなくて、
知っている人は詳しいところまで知っている

最後に

- ヤマネは隠岐の島の中でもめったに見ることのできない動物で自分たちの目で実際に見ることができなかった
- 全国でもヤマネを研究している人が少ないので情報の収集が難しかった
- 隠岐島内にもヤマネについて詳しい方がいることが分かったので将来的にその方たちと協力してヤマネを保護する活動などにも取り組めるとよいと思った。